

一般質問

六月定例会では、三人から一般質問が行われました。掲載は質問順です。

地元住宅関連業界を どう育成していくのか



別府 静春 議員

別府静春議員 本町の住宅関連業界は、大手メーカーの進出、長期不況と深刻な経営環境下で苦し

いながらも、「木の香る住宅振興券（宮之城町商品券）」を発行するなど、

自助努力をしている。町の住宅マスタープランでは、地元関連業界に対し、宮之城らしい住まいの提案、販売方法の検討を行うとあるが、その具体策

北村町長 町内の住宅関連業者の活性化と、地場の木材活用を図るため、

モデル住宅の開発や販売促進等への取り組みを促進し、住宅産業振興会とも連携を図りながら、町の活性化につながるよう、側面から支援していきたい。

施主への助成策は

別府議員 一戸の住宅を

建てるには、あらゆる業種の方々と、千種を超える資材が動き、町内商店街からも数々の品物が取引されるが、大手メーカーでは町の活性化にはつながらないのが現状であ

る。今回の温泉付分譲団地のなかで、地元建築業者が施工した家に対し、施主への助成策はとれないか。

町長 公平性から、現時点では難しい。定住対策との関連もあるの

街路樹を見直せないか

別府議員 国道三二八号

の甫立原付近、船木の国道四車線沿いの街路樹の現状をどのように認識しているか。



カンゼン竹の街路樹(船木地区)

ているところである。船木地区については、沿道に工場や病院等があり、交通安全対策を考えてカンゼン竹が植えられたと聞いている。支障のない範囲で、樹木を混ぜて植栽できないか、県と協議していきたい。

町木「イヌマキ」の 植栽を

別府議員 町並みの竹街路樹は、家並みに映えて素晴らしいが、郊外の街路樹は、歳を重ねることに、重みと風格が備わっていくべきだ。町木である「イヌマキ」の自然仕立て、あるいはケヤキ等は考えられないか。

町長 竹は、百年後もやっぱり竹である。市街地は竹でいいが、郊外は「イヌマキ」という形で検討してみたい。

町長 甫立原付近につい

ては、立ち枯れや生育不良があり、景観的にも好ましくなく、また沿線にモウソウ竹林もあることから、植え替えにあたっては、竹以外のものに対応するよう県にお願いし